

うちなだ 議会だより



舞い上がれ
大空高く!

Vol.126

平成28年〔2016〕

8月5日発行



内灘町キャラクターズがフルキャストで紙面に登場!

石川県内灘町議会

地域を守る消防団

消防団は普段から地域における消防防災のリーダー的役割を担っています。団員は仕事を持ちながら、火災や大規模災害時には素早く現場へ駆けつけるため、日頃から訓練を行ない万々に備えています。現在、町には区域ごとに第1〜第4分団があり、計89名のみなさんがその職務にあたっています。



第1分団



第2分団

平成 28 年度 河北都市消防団連合訓練
2年連続総合優勝 第2分団



第3分団



第4分団

消防団と共に
地域の防災力を高めよう

内灘町議会



快斗さん

— 目次 —

6月会議

学べる環境の充実へ！

4

請願の審査

6

賛否の分かれた議案一覧

6

討論！

6

—— 内灘高校創立30周年記念事業交付金

一般質問

7

七人が登壇

委員会レポート

15

ありやくどうなったがいねー

16

視察レポート 広報対策特別委員会

17

ようこそ

友好都市猿払村議会の皆さんが来町

17

街がどいんタビュー

向粟崎 喜多 和昭さん

18

表紙のことは

「舞い上がれ 大空高く！」

5月8日(日)内灘海岸で開催された第28回世界の風の祭典にて。内灘中学校のみなさん。



サンセットブリッジ内灘からの夕陽

の充実へ!

6月会議
7日~15日

教育予算を拡充しました

(新) 図書館を使った調べる
学習コンクール開催費

65万円



児童の学ぶ力の向上と、
図書館の利用促進を図る。

平成28年内灘町議会6月会議が開催され、今年度補正予算のほか、条例と請負契約の締結・財産の取得・人事案件など計8件を審議し、すべて原案のとおり承認・可決しました。

一般会計補正予算

(賛成10人 反対2人)

文化会館の改修工事費など1596万5千円を増額し、総額105億4496万5千円としました。

※なお、観光振興事業の内灘町観光協会補助金20万円については、付帯意見をつけて可決しました。

関連記事 (p.15)
総務産業建設常任委員会レポート

専決処分

(全員賛成)

国民健康保険特別会計
平成27年度収支不足額の繰上
充用として、2億230万円
を増額し、総額35億4930
万円としました。

請負契約の締結

(全員賛成)

内灘町地域防災センター整備
工事 (建築工事)

契約金額 1億7064万円

契約相手 城東建設株式会社

工期 平成29年2月28日

条例改正

(全員賛成)

職員定数条例

町長部局と教育委員会部局の
間で4人の増減を行なう改
正。

都市公園条例

西荒屋児童公園の地番の変更
にともなう改正。

財産の取得

(全員賛成)

白帆台小学校建設用地の取得

取得する土地 白帆台2丁目

168番1 外9筆

取得金額

3億50万2592円

土地所有者

内灘町土地開発公社

学べる環境

内灘公民館施設 改修工事



440万円

文化会館の舞台屋根と
1F女子トイレの改修。

(新)内灘高校創立30周年 記念事業交付金

100万円



視聴覚室の冷房設備整備費用。

その他の主な事業

- | | |
|------------------------------|-------|
| コミュニティ助成事業助成金(一般) | 250万円 |
| 大清水町会にイベント用ステージ及び音響設備。 | |
| コミュニティ助成事業助成金(防災) | 60万円 |
| 鶴ヶ丘4丁目自主防災会に発電機2台及びテーブル23台。 | |
| 子ども子育てシステム改修費 | 130万円 |
| 保育料の負担軽減制度拡充に対応するためのシステム改修。 | |
| 内灘町観光協会補助金 | 20万円 |
| 映画「黒い暴動♥」を通じ町の観光PRを行うための諸費用。 | |
| 学びの組織的実践推進事業補助金 | 20万円 |
| 指導力向上や学力向上の取り組みの推進。(向粟崎小学校) | |
| 道徳教育推進事業補助金 | 30万円 |
| 道徳教育の実践。(清湖小学校) | |
| 学校給食施設管理費 | 432万円 |
| 多機能加熱調理機器(オープン)を更新。 | |
| 体育施設改修工事 | 120万円 |
| 内灘町弓道場の防矢ネット張り替え。 | |
| 特別支援教育支援員の増員 | 101万円 |
| 内灘中学校配置の特別支援教育支援員。 | |
| 労働者派遣委託料 | 151万円 |
| 嘱託員の育児休業に対応するため労働者派遣を委託。 | |

人権擁護委員



あらふねまゆみ
荒船眞由美氏

(再任 鶴ヶ丘)

固定資産評価審査委員



こだいらしんいち
古平 真一氏

(再任 白帆台)

人事案件

(全員賛成)

6月会議

請願の審査

継続審査

請願第10号
国の教育予算の拡充を求め
る請願

◎請願者
(継続に賛成9人 反対3人)

石川県教職員組合河北支部
執行委員長 政近 顕純
◎紹介議員 清水 文雄

要旨

計画的な教職員の定数改善を推進し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、来年度の予算編成では義務教育費の拡充を望む。



審議結果一覧

5・6月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田 一香	磯貝 幸博	七田 満男	太田 臣宣	生田 勇人	川口 正己	藤井 良信	恩道 正博	北川 悦子	夷藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
議案第43号 専決処分の承認を求めることについて 〔内灘町税条例等の一部を改正する条例について〕		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第46号 平成28年度内灘町一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
請願第10号 国の教育予算を拡充することについて(継続審査の賛否)		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	×

○は賛成、×は反対、-議長は採決に参加しません。

討論!

可決

議案第46号
平成28年度内灘町一般会計補
正予算(第1号)

内灘高校創立30周年記念事業交
付金100万円

反対

清水 文雄
内灘高校の設備的なもの
については本来、県が
みるべきだ。



賛成

磯貝 幸博
教育環境充実のため、ま
た魅力ある高校の発信のた
めにも必要な予算だ。

5月会議

5月17日

専決処分の承認

平成27年度補正予算

(全員賛成)

各会計について、事務事業
費の確定などにより予算を
減額しました。

一般会計

8649万8千円を減額し、
総額97億528万8千円と
しました。

公共下水道事業特別会計

850万3千円を減額し、
総額13億8852万5千円
としました。

新エネルギー事業特別会計

44万4千円を減額し、総額
9155万6千円としまし
た。

国民健康保険特別会計

609万5千円を減額し、
総額35億1756万9千円
としました。

後期高齢者医療特別会計

196万6千円を減額し、
総額2億2963万8千円
としました。

介護保険特別会計

5597万1千円を減額し、
総額17億2552万9千円
としました。

条例改正

税条例

法人住民税法人税割の税率
の引下げ、軽自動車税のグ
リーン化特例の一年間延長、
その他税法改正に伴う所要
の改正。

(賛成10人 反対2人)

国民健康保険税条例

賦課限度額の引上げと、保
険税の軽減判定所得基準を
拡大する改正。

(全員賛成)

市政も問う

7人が登壇

一般質問 (6月9日)

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

太田 臣宣 8

- 住宅リフォーム助成について
- 健康寿命延伸について

米田 一香 9

- 子どもの健康を守り、仕事・子育ての両立支援を
- 超高齢社会における社会保障と財政運営について

恩道 正博 10

- 公衆無線LANについて
- 安全安心の町づくりについて

北川 悦子 11

- 増える子どもの貧困と対策を問う
- 観光客にやさしいまちづくりが必要 ほか3問

清水 文雄 12

- 広域行政（石川中央都市圏における連携中枢都市圏4市2町）の推進について
- 町奨学金制度の充実について ほか2問

磯貝 幸博 13

- 公民連携（PPP）を積極活用し、効率的で魅力あるサービスを提供せよ
- 大規模災害に備え、ライフラインの絶対確保を目指せ

藤井 良信 14

- 若者の政策形成過程への参画について
- 「食品ロス」削減に向けて町の取り組みはあるか ほか1問

題字 上野雅子さん（西荒屋）



住宅リフォーム助成の復活を

平成28年度の実施を検討 町長



太田 臣宣

問 住宅リフォーム助成やプレミアム商品券の発行は経済効果に即効性があり、安心安全や定住促進につながる。
今後、町の経済状況などを注視し、助成制度の復活を検討せよ。

答 住宅リフォーム助成事業は住環境の向上と商業を活性化させるために有効な事業である。
景気の回復基調を後押



景気回復を後押し！

問 空き家リフォーム助成の検討も必要だ。

答 平成27年度の調査で空き家は347件となり増加している。
今後、空き家所有者へ意向調査を予定しており、**空き家バンク**※の充実とあわせて検討する。

健康寿命の延伸

問 健康寿命の延伸についての取り組みは。

答 町民のスポーツ振興や健康増進を図るため、体育施設の充実や林帯遊歩道を整備し、ウォーキングに親しめる場も提供している。

平成28年度は、国の地方創生加速化交付金を活用し健康づくり推進に取り組む。ほのぼの湯は平成29年3月完成予定。

問 健康志向が高まる中、多くの方々が利用できる環境を整え、**健康遊具**※を設置せよ。

答 健康遊具の設置は、健康寿命の延伸に効果が期待できる。子どもの安全確保と、一定以上の広さがあり、公園の目的が失われないことが重要。
現在、鶴ヶ丘中央公園で国の交付金を活用し、設置計画を進めている。



健康遊具「はんとう棒」



風車おじいちゃん

※空き家バンク

空き家情報を集め、移住希望者らにインターネットなどで発信する仕組み。

※健康遊具

ストレッチやツイスト、ジャンプ、屈伸などの運動ができる大人用健康増進器。



米田 一香

病児保育の充実を図れ

財政状況を考え検討する 町長



すくすく元気におおきくな～れ！

問 子どもの健康を守り、保護者が安心して働けるよう**病児保育**※の普及促進は重要だ。北部保育所に常勤看護師を配置し、体調不良児対応型の病児保育体制を整えよ。

また、十分な人員確保ができるよう看護師2人目配置にかかる経費を町から保育所などに助成し、職員の負担軽減を図れ。

さらに**病児送迎事業**※実施を検討せよ。

答 北部保育所は看護師配置に向け対応する。

現在、町内9施設のうち5施設で2名の看護師が常勤している。理想は看護師2人体制だが募集をかけてもなかなか応募がない。今後、人員確保を検討する。2人目配置の補助は財政状況も考え検討する。

病児送迎事業は先進地の実施状況を参考に調査研究する。

社会 保障

問 町は国より速いスピードで高齢化が進行している。超高齢化にともなう社会保障費の推移は。

答 町の社会保障費の総額は、平成2年度約9億円から平成27年度約38億円と4倍余りに拡大。10年後は平成27年度の約1・5倍に増加の推計。健全な財政運営が重要。

問 大事な社会保障制度



次へと つ・な・げ

を維持するため、高齢者の皆様に少し我慢をお願いすべき状況だ。

現行の長寿祝券・祝金は配布範囲や金額を縮小し、健康長寿祝券の新設で、健康づくり支援を検討せよ。また、ほのぼの湯の料金も中長期的な視野で見直しが必要だ。

答 今後、財政状況もふまえ議会と相談しながら検討を深める。



千鳥おばあちゃん

※病児送迎事業

保育所などに預けた子どもが急に体調を崩した際に、病児保育施設に送り届ける事業。富山市では平成28年10月から全国で初めて行政として市職員が送迎を行なう予定。

※病児保育

突発的な発熱や風邪などで保育所が預けられない子供を、保護者の委託を受けて一時的に預かる施設・サービス。



恩道 正博

公衆無線LAN設置計画は 先行して庁舎内に整備

総務部長

問 これまで2回の本会議で、公衆無線LAN※設置について質問をした。その後の進捗を示せ。

答 設置には、セキュリティや利用認証の技術面などで重要な課題がある。国は、2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、WiFi※環境の整備を進めている。国の補助事業を活用し、整備計画を検討する。

問 役場庁舎内で公衆無線LANを先行して設置する考えはあるか。

答 セキュリティ対策を検討し、先行的に役場庁舎内に公衆無線LANを整備する。



前向きに検討する



活躍する女性防災士

防災対策

問 近年の大規模な自然災害の発生状況を見ると、防災対策の見直しをする時期ではないか。防災対策の体制強化として、専任部署の設置が必要だ。

答 防災業務を専任する職員を増やす必要性がある。防災専任部署の創設を前向きに検討したい。金沢ケーブルテレビの専用チャンネルを開設し、

緊急情報を提供する準備を進める。地域防災センターの整備や福祉センターの改築に合わせ、防災施設の強化を図る。

問 女性防災士の育成がもつと必要ではないか。

答 町内防災士79名のうち女性14名。避難所の運営では女性の視点が重要であり、さらに女性防災士の育成を行なう。

※WiFi
ワイヤレスでインターネットを実現する技術。

※無線LAN
無線通信を利用してデータの送受信を行なう、同一の敷地または建物内などに構築されたネットワークシステム。



はまなすちゃん



北川 悦子

就学援助制度の拡大を

動向をふまえて検討 町長



走れ！ゴールめざして

問 子どもの貧困は大変見えにくい。町は子どもの貧困率を調査しているのか。実態をつかむには全ての子どもを把握できる義務教育課程を対象にすべきだ。現状を把握し対策と支援が必要。

答 貧困率は調査していない。平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、県と共同で学習支援事業を実施。町独自では、ひとり親家庭などの就学前児童や高校生に児童奨学金、学童保育料の一部助成制度がある。就学援助費の拡充は、県内市町の動向をふまえて検討する。入学準備金は事例を調査検討中。

問 観光客にとって優しい町になっているのか調べてみた。内灘駅横のタウンマップには距離の記入、内灘海水浴場では砂浜に車がはまらないための注意書き、海岸入り口には試射監視棟跡への案内板が必要だ。タウンマップめぐりにはわかりやすい誘導案内も必要。

答 地元住民にも観光客にもわかりやすいものを設置する必要がある。現地確認を行ない、対応を検討する。

観光情報



わが町 自慢の眺望



大橋兄弟

その他の質問

問 保育士の産前休暇を8週間にせよ。

答 産前・産後休暇は国に準じている。

問 安価で飲食を伴う交流センターが必要。

答 サイクリングターミナルがある。

問 図書館で絵画・写真の展示ができないか。

答 フロアのほとんどを書架で占められ難しい。



清水 文雄

「なだバス」の充実を図れ

平成28年度調査を実施する 町長

問 石川中央都市圏ビジョンの推進には公共交通の充実が必要だ。金沢市と連携してコミュニティバスの相互乗り入れを進めよ。

また相互乗り入れで、内灘駅やコンフォモールを経由すれば、浅野川線の利用向上と町のにぎわい創出にもつながり、交流人口の拡大が期待される。コミュニティバスの充実を図れ。



金沢市との連携を進めよ

答 公共交通の充実は喫緊の課題と認識している。コミュニティバスの相互乗り入れは利便性の向上や浅野川線の利用促進につながると思われる。実施に向けては、路線の決定や事業者との調整、費用分担など課題も多いため、平成28年度中に相互乗り入れなどの調査を実施する。

調査結果をふまえ、今後の対応を検討する。

奨学金制度

問 町では、中学校から高等課程へ進学する生徒への奨学金制度は、平成25年度からの実施以来、予算が25万円から増額されていない。1人あたり5万円であるが、平成28年度は申請者15名のうち5名しか支給されていない。予算の増額、制度の拡充が必要だ。

あわせて、大学入学者への奨学金給付制度を町独自に新設せよ。

答 スポーツや文化的な活動で活躍した子も含めたため申請者が増加した。県には「育英会」という、月1万8000円の無利子貸与の奨学金制度もある。

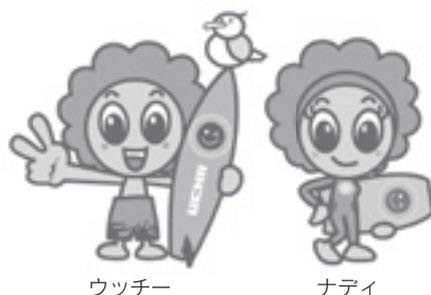
現在、国は見直しを検討しており、制度の充実が期待できる状況である。県では大学進学者に対し丁寧な奨学金の説明がされている。制度の拡充や新設は考えていない。



未来に真剣な眼

その他の質問

- 問** 白帆台公民館を投票所として増設せよ。
- 答** 国の基準以上に投票所があり増設しない。
- 問** 千鳥台のバス停は移動が安全対策を講じよ。
- 答** 移動は難しい。安全対策を検討する。



ウッチー

ナディ



磯貝 幸博

公共施設にPPP導入を 適合事案を見きわめ検討

町長



民間のノウハウを生かして

問 PFI※の調査研究はどの程度進んでいるか。

答 職員研修や先進自治体の取り組みを調査研究してきた。関係資料を取り寄せ、手法などについて関係部署で検討した。平成27年3月にNPO法人日本PFI・PPP協会へ入会し、国や自治体からのお知らせやセミナー開催などの情報収集に努めている。

問 VFM※の最大値点を見極め、平成28年度中に策定される公共施設等総合管理計画にPPP※導入を検討せよ。

答 町立保育所の民営化や指定管理者制度の導入、コミュニティバスの民間委託などを進めてきた。今後の公共施設の整備には、収益性も考慮し、先進事例を参考にPPPの活用を調査検討する。

防災連携

問 大規模災害時、救援活動の要となる庁舎などでは、どの程度、緊急対応が可能なのか。

答 役場庁舎、消防本部、文化会館、上下水道施設には非常用発電装置を備えている。庁舎では電気は少なくとも72時間の稼働を、また飲料水は100トンの貯水槽で確保している。食料も備蓄している。

問 各地区の自主防災組織や周辺自治体との連携は確保されているか。

答 各地区とデジタル式防災行政無線により結び、相互に被害状況などの情報伝達が可能。金沢市、かほく市、津幡町とは災害時相互応援協定を結んでいる。今後は石川中央都市圏防災連絡会議で防災連携施策を検討していく。



救援最前線を結ぶ

※PFI
民間の資金と経営ノウハウを活用して効率のよい公共事業を行ない、自治体の財政負担も軽減していく取り組み形態。

※VFM
PFI事業における重要な概念の一つで、支払い（税金）に対して最も価値の高いサービスを提供するという考え方。

※PPP
自治体と民間事業者が連携して公共サービスを提供していく枠組み。公民連携のこと。

政策形成過程へ若者の声を

開催を含めて検討する 町長



藤井 良信

問 18歳選挙権実現の参院選を前に、若者の政治的関心を高める動きに注目が集まっている。今年2月、内閣府は子ども・若者育成支援推進大綱を改正した。そこでは「子ども・若者の意見が積極的に反映される適切な配慮」が求められている。町の政策形成過程への若者参画は、どのように考えているか。

答 町内の全小学校や内灘高校では模擬投票を実施。また、成人式では新成人は企画立案の運営委員として参加。町総合計画の策定ではアンケートを実施し意見を収集。町の政策形成では将来を担う若者世代の考えは大切であり、今後は青少年の社会参加を高めるためにも、若者会議やモニター制度など、開催を含めて検討していく。



若者の声！ 輝く町づくりへ（内灘町成人式）

食品ロス

問 日本では年間1700万トンの食品廃棄物が発生し、このうち642万トンが食品ロス※。

食品ロスを減らすための国民運動として、消費者の意識向上を図る取り組みではどのような施策推進があるか。

育出前講座では、発育に必要な食生活の習慣、残さず食べることの大切さや食べ物に対する感謝の気持ち等を伝えている。

問 町にある消費期限間近の災害備蓄食品は有効活用されているか。

答 うちなだ健康プラン21に基づき食育の推進に取り組んでいる。保育所や小学校での食

答 各町会や町の総合防災訓練の際に、必要数を住民の皆様へ試食として提供している。



みんなで避難訓練（内灘はまなす保育園）

その他の質問

問 マンホールトイレ事業計画の進捗を示せ。
答 今年度、計画策定に向けて検討を進める。

※食品ロス
まだ食べられるにもかかわらず廃棄される食べ物。環境省では、食品ロス削減を目指した国民運動を展開している。



モーさん

総務産業建設常任委員会

問

内灘高校創立30周年記念事業交付金は、県立内灘高校の視聴覚室冷房設備に使われるが、施設を管理する県が行なうべきでないか。

答

創立30周年の節目に、地元の高校を応援するため、高校と協議した結果、町の記念事業として支援することにした。

問

県は内灘高校体育館の雨漏りを修繕する予算を計上しているのか。

答

平成28年度当初予算に計上されていないが、町から県に早期改修の申入れを行なう。

問

内灘町観光協会補助金は、補助金に関する事業計画書や企画書を示せ。

答

話し合いの中で決定したため、企画書などの提出はされていない。

内容の見直しを求める

町観光協会補助金20万円は、PR活動に使うべきだ。

内灘町で撮影された、映画「黒い暴動♥」出演者6名が、東京から町民夏祭りに参加するための補助金となっているが、町民の方も出演していることから、補助内容を見直し、町内上映会のPR活動に使用すべきである。

また、予算の執行前に委員会に十分な説明を行ない、決算書の提出を求めることなど付帯意見をつけ、本会議で承認しました。



町内での撮影風景

文教福祉常任委員会

問

サイクリングターミナルに設置されている電気自動車の急速充電器の利用状況を示せ。

答

平成26年度は11月から月平均約35台、平成27年度は月50台となっており、利用台数が伸びている。

線上充用とは

地方公共団体の会計年度における歳出は、その年度の歳入をもってこれに充てなければなりません。その年度に収入する予定であった歳入を確保できず、会計年度が経過した後に歳入が不足するときは、翌年度の歳入でその不足分を補てんすることができ、これを「線上充用」といいます。

問

町が土地開発公社から取得する白帆台小学校用地の取得価格はいくらか。

答

総額3億50万2592円。土地開発公社が取得した価格と同額である。

問

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算の内容を示せ。

答

平成27年度の収支不足分の繰上充用※で、充用額は、前年度より若干少なくなっている。



親子で絵付け（アカシアロマンチック祭）



ミツバちゃん

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

共同墓地の整備を図れ

今後少子化で、ますますお墓の管理が難しくなる。町で共同墓地の整備を図れ。

平成22年12月議会 北川 悦子

答 弁

研究したい

今後行政として何が出来るか、霊園管理の中で研究したい。

その後

平成28年1月 内灘町霊園合葬墓が完成

平成28年3月から使用申込みを受け付け、5月から使用を開始しています。



学童保育クラブの保育料を軽減せよ

新たな子育て支援策として、多子世帯やひとり親家庭の学童保育クラブの保育料を軽減する減免制度を設けよ。

平成27年9月会議(※) 恩道 正博

※平成26年から本会議の名称が「〇〇議会」から「〇〇会議」に変更となりました。

答 弁

ひとり親世帯の減免措置を検討する

県のひとり親家庭放課後児童クラブ利用支援事業費補助金を活用し、減免を検討する。

その後

平成28年4月 ひとり親世帯の学童保育料の助成開始

ひとり親世帯について、児童1人あたり、月額3,000円を助成する。また町独自の取り組みとして、所得制限を廃止。



議会だよりは住民参加型で

視察レポート 広報対策特別委員会 日程 7月13日～15日

【視察先】・町村議会広報クリニック(東京都)
・埼玉県ふじみ野市
・東京都西多摩郡瑞穂町



今後の編集活動に活かします

広報クリニックでは、議会だよりを実際に添削してもらい「読みやすさ」「住民目線」の企画編集技術を学びました。

ふじみ野市では、表紙の写真を「働く人シリーズ」とし、裏表紙のインタビュー記事と合わせて働く市民を紹介。住民参加型の議会だよりを作成していました。

瑞穂町では、オールカラーの紙面構成でも、あえて表紙はセピア色とし、人物の表情を強調するテクニックには驚きました。写真と余白のバランスも素晴らしく、住民参加の特集ページに親しみが持てました。

住民が登場するページを多用し、親しみのある、魅力的な議会だよりを作っていきたいと考えています。(七田)



内灘町・猿払村のさらなる発展を願って

平成27年10月の友好都市締結後、初めての交流となり、太田議長をふくむ議員団8名を歓迎しました。

ホタテ漁が縁で、これまで育んできた友情と絆をさらに深め、様々な分野において連携し、両町村間の友好交流を促進します。

ようこそ友好都市
北海道猿払村議会が来町

5月24日

平成26年4月に、議会改革のひとつとして導入した、タブレットパソコンが、今年5月、契約更新となりました。

町から提供される膨大な資料が、すべて端末に保存されているため、過去の資料を容易に探し出すことが可能です。また、大量な資料を持ち運ぶ手間も省け、利便さを実感しています。

県内初、全国的にも先進的な取り組みであり、他市町村からの視察が大変多くなっています。

フル活用
タブレットパソコン



ウチナダー3

議会録画をご覧ください ●町ホームページで、インターネット配信されています。

